

北海道新幹線の建設促進に関する

要 望 書

平成 23 年 7 月

北海道新幹線建設促進関係自治体連絡協議会

北海道新幹線の建設促進について

我が国においては、この度の東日本大震災からの一日も早い復旧・復興、災害に強い国土づくりが最重点課題であり、日本経済の再生と国全体の活性化を図るためにも、整備新幹線の一層の推進が必要である。

このような中、北海道は、

- ・東北地方と一体となった北日本の復興
- ・電力不足が生じている首都圏等から、冷涼で電力安定供給が可能な北海道への産業活動の移転
- ・食や水資源、災害対応などの分野での我が国におけるバックアップ機能の発揮

といった役割を果たしうる地域であり、次のような意義や必要性を有する北海道新幹線は、その整備促進が急務である。

北海道新幹線の意義・必要性について

① 災害に強い国土の形成

- ・東日本大震災では、東北新幹線が短期間で全線復旧を果たし、安全・安心な高速交通機関であることが実証されたところであり、国土の北から南までを一貫してつなぐ「背骨」としての役割が一層高まっている。
- ・災害に強い国土を形成するためには、人、モノ、情報の拠点を国内各地に分散立地することが必要であり、新幹線を札幌から鹿児島まで繋げることにより、リスク分散のネットワークを構築することができる。

② 東北地方と北海道が一体となった復興支援

- ・新幹線が新函館まで早急に開通されることにより、経済交流や新産業の創出等が促進され、東北地方の復興に大きく貢献することができる。
- ・さらに、人口300万人を擁する札幌圏まで延伸することにより、北日本全体のポテンシャルを高め、東北地方の復興・発展を加速することができる。

つきましては、未着工区間を含む全線の早期完成に向けて、次の事項について特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

記

- 一．新函館・札幌間の全線フル規格での一日も早い認可・着工と早期完成
- 一．青函共用区間走行問題の早期解決及び新青森・新函館間の早期開業
- 一．幅広い観点での建設財源の確保及び地方負担に対する財源措置の拡充

平成23年7月28日

北海道新幹線建設促進関係自治体連絡協議会

会 長	札幌市長	上田 文雄
副会長	北斗市長	高谷 寿峰
	小樽市長	中松 義治
	倶知安町長	福島 世二
	長万部町長	白井 捷一
	八雲町長	川代 義夫
	七飯町長	中宮 安一
	函館市長	工藤 壽樹
	木古内町長	大森 伊佐緒